

■フランス：自動車業界、2022年までにEV販売台数を5倍増にする目標

自動車産業界と政府は2018年5月22日、2018～2022年をカバーする戦略的契約に署名した。署名式には、ルメール経済大臣、ユロ環境・エネルギー大臣、ルノーのカルロス・ゴーン会長などが参加した。同契約では、2022年までに、電気自動車およびハイブリッド車の販売台数の5倍増（2017年の約3万台から2022年には約15万台）、10万基の充電器設置（現時点では2万基）、電気自動車購入に伴う補助金支給（最大6,000ユーロ）の2022年までの維持、などが合意された。同契約により、雇用創出や中小企業の成長などが期待されている。政府は2011年以降、自動車産業に6億5,000万ユーロを拠出しており、今後数年間については、水素や第4世代のバッテリーに関する調査研究などに、同規模もしくはそれ以上の拠出を行うとしている。